

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.38
H31. 1. 18

◆ネットでのコミュニケーションで大事なことは？

1月11日（金）、4年生から6年生の3つの学年でネットモラルの学習を行いました。今回はLINE（ライン）の会社の方を講師に迎えました。



6年生は、ほとんどの子たちがYouTube（ユーチューブ）やLINEをしたことがありました。最近ではTikTok（ティックトック）をしている子もいます。子どもたちは、どんどん新しいものを吸収しています。

LINEは、大切な人とつながるコミュニケーションのツール（道具）で、東日本大震災がきっかけで作られたものです。災害が起こると電話は使えなくなる場合があり、連絡手段はサーバーの制限がかかりにくいインターネットになり、LINEは既読という機能で、連絡ができなくても既読になることで、無事を確認する手段の一つです。

さて、今回の学習内容は「楽しいコミュニケーションを考えよう！」です。まず、友だちから言われて「イヤだな」と感じる言葉を「①真面目だね②おとなしいね③一生懸命だね④個性的だね⑤マイペースだね」から一つ選び、どうしてそう思うのかグループで交流して他の子の思いを知りました。これは「人によってイヤだなと感じる言葉は違い、みんな同じ考えをもっていないことを知る演習です。」



また、「おもしろいね」という言葉だけでも①すっごくおもしろかった気持ち②ちょっとだけおもしろかった気持ち③バカにした気持ちを持っています。同じイラスト（スタンプ）でも、人によって感じ方は違う場合があることを学びました。人によって言葉やイラスト（絵文字）の捉え方も違うということもわかりました。このように、実際、会話をしないネットの世界で、文字だけで気持ちを伝えるのは難しく、ネット上では、相手の表情や雰囲気からわからないので、誤解が生まれやすいということをしっかりわかっておく必要があります。学んだことを生かし、相手の気持ちを考えて楽しいコミュニケーションをしてほしいと思います。



◆和楽器体験 — 日本の伝統楽器「箏」に親しんだ5年生！—

1月17日（木）、講師に佐藤先生、松井先生を迎え、5年生が箏（こと）の体験をしました。お正月になると、お店からよくお箏の音色が聞こえてきます。昔から日本人に親しまれてきた和楽器の一つです。この日は、ほぼ初めてであろう箏を弾いて和楽器に親しみました。箏は講師の方が毎年10竿以上持ってきてくださいます。ありがたいことです。子どもたちは、13弦の箏を使って、昔から親しまれてきた「さくら」の演奏に挑戦しました。



3人ずつのグループになり、弾くときに必要な箏の爪をはめて、箏を弾く時の基本姿勢（弾くときは正座）や弾き方、弦の番号など、「さくら」を弾きながら教えていただきました。箏の楽譜には、ドレミは表記されていません。音階は弦の番号です。「さ・く・ら、さ・く・ら」なら「7・7・8、7・7・8」となります。講師の方から「次の糸にぶつけると大きい音が出ますよ。」と、何度もアドバイスをもら

いながら一生懸命弾きました。少し弱音を吐きながらも、最後まで先生の教えにしたがってがんばる5年生でした。

和楽器は指揮者がいませんので、演奏する人は、心を合わせて弾かなければなりません。心を合わせることは日常生活でも大事なことで、和楽器の体験を通して、このようなことも学んでほしいと思います。最後は、講師の方の演奏を聞いて箏の音色の美しさを満喫し、和楽器に親しむことができた時間になりました。



【連絡】

※1月26日(土)『みんなでつながろう しあわせコンサート』が開催されます！

今年も人権ふれあいコンサートが今年も橋北地区の社協人権推進部主催で行われます。今年、橋北交流会館が会場です。

当日は、6年生を中心に30人ほどの子どもたちが参加します。また、橋北中学校音楽部の皆さんの演奏も楽しみです。

さらに、地域の皆さんや近隣地区の皆さんを中心に昨年度結成された橋北ごちゃまぜ合唱団『温（ぬくもり）』の合唱もあります。今年度は「虹色のしあわせ」（作詞作曲 花れんさん、編曲 扇谷さん）のほかに、どんな曲があるでしょうか？是非、会場でお聴きください。



※新しいお友だちが増えました！

3学期から新しいお友だちが二人増えました。東京都のとなりにある埼玉県上尾市からの転入です。二人は姉弟（きょうだい）で、5年生の阿部百花さんと3年生の阿部光希さんです。始業式の日全校の前で紹介し、温かく迎えました。

また、2学期の終わりにジャカルタから転入した1年生の小城隆太郎さんも、全校にはまだ紹介していませんでしたので、今回一緒に紹介しました。

